



合志の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和7年11月14日（金）No 27 発行
文責：松本 卓也

「自分の思いを伝えること」「仲間の思いを受け止めること」

12日（水）、1年4組、2年7組、3年6組で合志市人権教育推進協議会学校教育研究会「公開授業研究会」を本校で行いました。100名を超える多くの先生方に、なかまづくりの実践をみていただきました。1年生では、「水平社宣言を引き継いで・・・【出典：きずな】」。西光万吉の生い立ちを通して、差別はおかしさに気づき、差別はなぜなくならないのかについて考えました。2年生では、「狭山事件は殺人事件ではありません。差別心があるかないか【出典：きずな】」。差別のおかしさに気づき、自分自身に差別心があるのかを考えました。3年生では、「43項目の質問状【出典：きずな】」。栄次とクラスメイトのつながりを通して、自分たちのクラスや自分自身について考えました。教師自身の語り（家族や友人など）に對しての差別心に気づき、出会い直しをしようという思いを聞くことで、子どもたちが自分と重なり合おうとする温かな時間が流れました。参観者の感想は以下の通りです。



- ・子どもたちの頑張りが素晴らしかった。日頃のT先生の関わりや学級経営がそういう子どもたちの雰囲気を作り出していると思います。
- ・よく考え、発表していて感心しました。水平社宣言、そしてクラスの人権スローガンをつくるまでの次時以降もみてみたいと思いました。
- ・なぜ差別がなくならないのかを、上辺だけで考えずに、どういう気持ちがあるのか、どんな利益を得ているのかまで考えていてすごいと思いました。
- ・教師自身が自分の生き方や差別心を語っていくことの勇氣、大切さを改めて感じた授業でした。
- ・普段からの関係性が良好なんだろうと感じました。だからこそ、H先生の差別心の話もしっかりと聞いて考えていたように思います。
- ・何より〇〇さんがニコニコで、しっかり授業を受けている姿を見られて良かったです。自身の差別心に気づいて、さらに成長してくれることを願っています。
- ・生徒が栄次のクラスメイトになったかのような気持ちで、授業に参加しているように見えました。「こうなりたいな」という空気を感じました。
- ・生徒の返しの中で、「先生になりたくないと思っていたのに、先生になってくれてよかったです」ということを聞いて、鳥肌が立ちました。
- ・M先生の真剣な語り、そして子どもたちの心からの返し。「進路公開」のイメージが見えて、自分も綴ってみたい！進路公開楽しみ！と子どもたちが考えることができたはずです。



協力者の皆様からは、「まず差別をしない子どもに自分を変えさせてください」「なかまづくりのなかまの中に、先生もいてほしい」「人権教育の総和としての進路公開。教員が教えるのではなく、こんなことを言っていきたいと子どもたちが気づいていくことが大事です」等、さまざまな視点で、ご助言をいただきました。子どもたちが本当につながり合うために、「自分の思いを伝えること」「仲間の思いを受け止めること」にこれからも取り組んでまいります。協力者のT様、H様、O様、多くの学びをいただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

天草路に合志の旋風が吹きました！！

11月7日（金）、天草市陸上競技場（あましんスタジアム）をスタート・ゴールとする熊本県中学校総合体育大会駅伝競走大会が開催されました。郡市大会で優勝した本校女子チームが出場し、13位の結果を収めました。1位の選手に必死についていく姿、離されてもあきらめない姿、ラストのトラックで抜き返す姿等、県内の強豪チームを相手に素晴らしい走りを披露してくれました。レース終了後には、「楽しかった！」「また、出たい！！」との声も聞かれ、来年に向けてとてもよい経験ができました。ご声援、ありがとうございました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）